

# 糖代謝異常妊産褥婦への 看護支援セミナー

オンデマンド  
研修

周産期医療に携わる私たちには、糖代謝異常を抱える妊婦に対して、妊娠期・分娩期の支援のみならず、産後も長期にわたって支援することが求められています。産後の2型糖尿病発症の予防策も徐々に明らかになっており、中でも母乳育児の継続、非妊時体重への早期復帰等が効果的です。まさに看護職として支援できる部分だと思います。周産期・育児期の糖代謝異常のリスクに対して適切に支援することは、女性の一生の健康を支援すると考えます。

講義では、周産期・育児期の糖代謝異常に関わる科学的に正しい情報を獲得し、適切に支援できることを目指しています。また、講義受講と事前事後テストの受験で、**CLoCMIP®レベルⅢ認証申請に利用可能です。**

【対象者】 テーマに関心を持つ看護職（助産師、看護師、保健師）及び栄養士等の医療職

【開催日】 オンデマンド視聴

視聴期間：2024年12月2日（月）～2023年3月31日（月）

【参加費】 7,500円（会員、入会手続き中も会員で参加可）、15,000円（非会員）

【定員】 50名

【申込方法】 申込方法が決定次第、日本母性看護学会ホームページに掲載いたします。

【応募期間】 2024年10月1日（月）～12月25日（水）

## プログラム（案）

①	周産期の糖代謝の理解
②	周産期の糖代謝異常の診断と治療
③	糖尿病の食事療法
④	糖代謝異常妊産褥婦の心理・体験
⑤	周産期の糖代謝異常の血糖コントロールと食事・運動
⑥	妊娠糖尿病妊産褥婦への支援～事例紹介～
⑦	糖代謝異常妊産褥婦への診療報酬での対応

※期間中、Zoomを用いたフリーディスカッションの時間（90分）を設けます（参加は自由）

 一般社団法人 Japan Society of Maternity Nursing  
日本母性看護学会

主催： 一般社団法人日本母性看護学会

開催責任者：山田 加奈子（生涯学習支援委員会委員長、大阪公立大学）

問い合わせ先：山田（yamadak@omu.ac.jp）